

## 令和元年度第2回野洲市社会教育委員会議（概要報告）

会議日時	令和元年10月21日（月曜日） 午後3時～午後5時
会議場所	人権センター 交流研修室
出席者	社会教育委員：高木委員長、八木委員、北脇委員、駒井委員、政本委員、森井委員 事務局：西村教育長、杉本教育部長、川端教育部次長、渡邊学校教育課長（学校教育担当次長）、田中生涯学習スポーツ課長、宇都宮図書館長、宮崎こども課長補佐、中川生涯学習スポーツ課長補佐、広沢生涯学習スポーツ課主査
傍聴人	なし

### ●議事

#### （1）（第3次）野洲市子どもの読書活動推進計画の策定について

##### ○事務局より説明

- ・子どもの読書活動の推進に関する法律を根拠とし、野洲市子どもの読書活動推進計画の策定する。
- ・前回からの主な変更として、①読書環境の整備には、家庭・地域・学校・園が協働し、連携することを書き加えイメージ図で示した。②ボランティア活動への支援を地域での取組例に記載した。
- ・図書館協議会で計画について説明した。

##### ◎主な発言（◇：委員、◆：事務局）

- ◇イメージ図に少し具体例を入れるとわかりやすい。
- ◇目標値の設定と計画の中身の施策が合致しているのか。重点目標が明確な方が市民にもわかりやすい。
- ◇アクションプランはどうするのか。後からでは計画の全体像が見えないので。学校司書を目指すとするがどうするのか。
- ◆司書教諭が役割を果たせるように図書館ボランティア等の協力を得て学校図書館の運営をしていくとしたい。
- ◇蔵書冊数の事が出てくるが情報化社会で、子どもが図書館に行かなくてもスマホで本を読める。その時代の流れへの考え方はどうなのか。
- ◆実際に本を手にとって選ぶ、ページをめくることでの経験、そこからの喜びも出てくるので本に触れる機会を積極的に作っていくことを進める。
- ◇スマホが普及しているが、本屋さんで本を読んでいる方はたくさんいる。減っているわけではないようで、子どもがどんな本を希望しているかということもある。
- ◆情報化の時代の課題で生活環境や家庭環境の変化等がある。読書の習慣化は本来、家庭の役割である。本に触れる機会を増やしていくということを計画に挙げている。
- ◇私立の保育所も計画の対象なのか。

- ◆野洲市内の公立・私立に関らず対象としている。
- ◇学童保育所はどうか。
- ◆入ってはいないが、子どもの読書活動の推進に関する法律の第4条にあります、地方公共団体の責務として活動の中では尊重してもらうことになる。
- ◇学童保育所で面倒をみてもらっているケースもあり大切な役割を果たしている。
- ◇地域の実情に応じて工夫して、学校の持っている資材を学童保育所に活かすということも出来ると思う。
- ◇読書感想文の応募等で読書を奨励するのは良いと思うが、先生も集めただけでなく全て目を通すと思うので、それも大変なことと思う。また、一斉読書で読書の機会を設けることは良いが本当に出来るのか。
- ◇小学校も英語やプログラミング等色々入ってきて、一斉読書もやってくださいとなると不安になると思う。
- ◇中学校では、1・2年は朝読書を先生と一緒にやっているが、3年になると朝学習をする傾向にある。中学生段階でも、本に親しむ機会をつくるべきだと思う。
- ◇小学校は、生活習慣の中で朝読書なども入れやすい。本に親しむ、本を読む習慣を学校でつけることで、家で読んでみようとか図書館に行ってみようという積極的なアプローチになっていると思う。低学年は事典など自分の興味のある本、高学年はシリーズものを好んで読む傾向がある。
- ◇何か目標がないとただ本を読もうというだけではいけない。計画策定にはリサーチも必要である。また、学校図書館運営は先生方だけでは難しくボランティアの全体としての定着化をどのようにしていくか考えることも必要である。計画では、色々と施策があるが1年目に何かしかけたいというものはあるのか。
- ◆出来るだけ多くの子どもたちに本を読む機会を経験できるように、親への啓発などを含め本を読むきっかけづくりをしていきたい。
- ◇学校でもそれぞれ何が出来るのか等を校長会でもお話しいただければと思う。
- ◆この計画については、次の校長会で説明してもらい、取組が進んでいるということを先ずは周知することがスタートと思っている。
- ◇1年目に何が出来る、そこで2年目に何がと焦点化しながら出来ることを進めていただければと思う。

(2) (第3次)野洲市子どもの読書活動推進計画策定スケジュールについて

○事務局より説明

(3)野洲市生涯学習振興計画(第2期)のめざす姿「次代の地域の担い手の育成 ～豊かな地域社会に～」について

○委員長より説明

- ・当事者として、生涯学習振興計画(第2期)のめざす姿の具現化に、何が出来るかを共有する。